

経済産業省と科学・イノベーション・技術省との
半導体パートナーシップに関する共同声明

1. 経済産業省(METI)と科学・イノベーション・技術省(DSIT)は、半導体が現代の世界にとって極めて重要であることを認識している。半導体は、ヘルスケア、防衛、通信などの重要なセクターの機能を維持し、人工知能、電動化、5G、量子コンピューティングなどの世界を変えるデジタル技術の進歩を可能にする。
2. 日本と英国は、半導体分野において世界をリードする、異なるが互いに補完し合う強みを有している。両者は、技術進歩の最先端に身を置くことの重要性に同意する。半導体セクターも課題に直面しており、最近の半導体不足がサプライチェーンの脆弱性を露呈させていることを認識している。両者は、サプライチェーンの強靭性を向上させるためには共同の努力が必要であるとの認識を共有する。
3. この二国間パートナーシップは、1994年の科学技術協力協定、最近開始された日英デジタルパートナーシップ、および、新たな産業科学、イノベーション及び技術に関する実施取決めなど、科学技術分野における日英間の協力の強力な歴史に基づいている。
4. このパートナーシップは、半導体技術における日英協力のための野心的な枠組みを定め、日英両国が半導体分野における互いの強み、専門知識、物理的インフラを活用することを奨励するものである。このフレームワークは、以下を提供することを目的とする：
 - 最先端のチップ設計、チップ製造、先端パッケージング、先端材料、化合物半導体など、互いに強みを有する分野での野心的な共同研究開発活動
 - METI と DSIT によるそれぞれの研究開発予算の活用方法の模索
 - 専門知識の共有、スキル交換の組織化、研究施設やプロトタイプング施設などの主要なインフラストラクチャへのアクセスに関する協力
 - 貿易や投資を含めた更なる協力を促進するための日英半導体産業対話の実施に向けた協力
 - 二国間プロジェクトや商業的な連携強化に向けた産学官交流を促進する専門家ミッション
 - 二国間のイニシアチブや国際フォーラムにおける協力を通じた半導体サプライチェーン強靭性を強化するための協力
5. 両者は、日英のイノベーション及び研究機関の間で、次のステップを特定し実施するための議論を促進することにより、本日の共同声明に基づいて迅速に行動する。